

第3回 “となみ創生”まちづくり委員会 議事録

日 時：平成27年10月13日（火） 午後4時～5時半

場 所：砺波市役所3F「小ホール」

出席者（17名・敬称略）

氏名	役職等	(区分) 分野
安念 邦夫	市民公募	(住民) 公募
伊藤 仁嗣	砺波農業者協議会青年農業士部会副部長	(産) 農業
梅本 恵子	有限会社梅香園	(住民) 食育・地域
燕昇司 勇夫	株式会社東般若利用組合 代表取締役	(住民) 農業
金田 卓也	砺波金融協会会員（富山銀行砺波支店長）	(金) 金融
河合 要子	KO・RA・RE 代表	(住民) 観光
北村 将人	となみ青年会議所専務理事	(住民) 地域
田邊 雅貴	アナウンサー	(言) 報道
中條 純子	高岡法科大学准教授	(学) 教育（学識経験者）
得能 英紀	砺波商工会議所常議員	(産) 商工
南本 宗憲	市民公募	(住民) 公募
早崎 富士夫	市民公募	(住民) 公募
堀田 泰弘	砺波工場協会会長	(産) 工業
室永 美穂	NPO 法人 SEIBU スポーツクラブ理事長	(住民) 体育
柳瀬 恵子	砺波市社会福祉協議会地域福祉課主査	(住民) 福祉・ボランティア
吉田 直子	NPO法人さくらの家矢木代表	(住民) 福祉
吉田 直人	市民公募	(住民) 公募

欠席者（3名・敬称略）

飯田 明恵	砺波市母親クラブ連合会副会長	(住民) 女性・子育て
雄川 勉	JA となみ野特産振興課長	(産) 農業
横川 達乃	砺波市男女共同参画推進員連絡会副会長	(住民) 男女共同

市側出席者

横山企画総務部長、島田企画調整課長、河合主幹、井口主事、宮本主事

資料等

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 議事
 - ① 砺波市人口ビジョン（案）について 資料1
 - ② 砺波市総合戦略（案）について 資料2
- (4) 閉会

2 添付資料

- ・資料3 砺波市人口ビジョン・砺波市総合戦略（骨子）
- ・資料4 委員各位からの意見一覧
- ・資料5 “となみーていんぐ” 開催案内
- ・資料6 委員からの意見・提案事項

1. 開会あいさつ	
	・開会宣言
得能委員長	・本日は3回目の委員会ですが、総合戦略については最後の委員会となります。その後は総合計画に続きますが、本日は総合戦略について重点的に行いたいと思いますのでよろしくお願いします。
2. 協議事項	
事務局	（資料1 砺波市人口ビジョン（案）について説明） （資料2 砺波市総合戦略（案）について説明） （資料3 砺波市人口ビジョン・砺波市総合戦略（骨子）について説明） （資料4 委員各位からの意見一覧について説明）
得能委員長	・今まで話し合われてきた人口ビジョン、総合戦略の4つの柱についてまとめてありますが、皆さまのご意見をお願いいたします。
委員	・「ワーク・ライフ・バランス」の推進を図る具体的な考えがみえなかった。事務局はどのような考えでこの項目を入れられたのか。
事務局	・男女共同参画の推進のひとつの柱として「ワーク・ライフ・バランス」の推進がある。企業（会社）の仕事と私生活のバランスを取っていくということで、男女共同参画の集いを開いたり、推進している企業を表彰したりして啓発を図っている。
委員	・日本の経済は、これまでは企業戦士の男性が中心となり支えてきたが歪がでてきている。育児、残業の問題などで家庭と仕事のバランスをどう取っていくかなど、ワーク・ライフ・バランスを研究している著名な人はたくさんいる。講演会などに招き、広く考え方を知ってもらうことが重要である。一般市民が理解し、他人事でなく自分のこととして考えていかないと進んでいかない。それぞれのパートで水が流れるような仕組みを作り、整理し協力し支援していくことが委員会のとしての我々の役目だと思う。そして市民としても我々は実行された施策をチェックし、フィードバックも行い砺波市が住み良い街になればと思う。 ・現在も以前もたくさんの事業計画がある。今回の総合戦略に掲載されているのは、新規の事業ばかりなのか。無くなった事業はないのか。事業が増えるばかりだと、魅力、要点が薄れてしまう。砺波をどう表現していくか計画を絞って、注力し魅力を出していけたらと思う。 ・主な事業の中で、6頁の「花のまち となみ」プロモーション促進事業（新規）とあるが、「フラワー都市交流連絡協議会事業」、「砺波市花と緑のコンクール事業」など関連しそうな事業が複数ある。このような関連できそう事業を単独で行うのか、各課が連絡し協力して相乗効果を狙うのか聞きたい。
事務局	・ライフ・ワーク・バランスについては、生産性の向上、短時間で生産性を上げていくことを社員に説明し理解してもらうことが必要で、実際に残業を減らしながら業績をあげていくために、ワーク・ライフ・バランスのアドバイザーに本社してもらい効果をあげている会社もある。 ・講演会などで話を聞き少しずつ考えを変えていく機会をもつことは大事である。 ・事業戦略については各担当課に各分野についての事業案を出してもらっている。

	スクラップ&ビルドで効果を出さなかったものはあげていないと考えられる。加えて、人口減少社会に対応していくために、必要な政策、税収、財源をキープしたなかでどこに力を入れていくかを改めて考えた ・以前は、担当課毎で事業を行っていたこともあったが、現在は、横の連携も図り相乗効果を高める努力はしている。
得能委員長	・事業ばかり増えて目標がありすぎると、どれを達成したのかわからなくなっているものがあるかもしれない。
委員	・チューリップ公園の整備計画があるが、花壇があるために使い勝手が悪い。砺波を代表するランドマークであるのに、フェアの2週間のみ使われ、遊んでいる期間が長い。もし、花壇がなかったら音楽イベント、民間に貸して中古車フェア、雪を集めスノーボード大会等も開催できる。朝市や夏祭りなどは、公園の隅っこで行われていてもったいなく思う。チューリップは、パレットで育てて、運ぶことはできないのか。 ・婚活イベントの司会を入善町で行ったが、会場が「牡蠣ノ星」というカキを提供する施設だった。入善町でカキが捕れるわけではなく、各地、広島やオーストラリアから仕入れたカキを入善町の深層水で漬けて味に深みを出し、入善町のブランドとして商品化していて施設は連日盛況である。 砺波でも例えば、砺波産の玉葱を食べさせた豚など、アイディア次第でブランド化できる可能性がある。また、その豚を提供し、一年中バーベキューができる施設があるなどの六次産業化も可能である。魚津の肉祭りでは子ブタの丸焼が目玉となっていた。砺波でもできることがあるのではないかな。
委員	・事業の重複で、7頁の「となみっ子」にっこり子育てプロジェクト（拡充）、他何項目かが8頁にもあるのが気になる。 ・委員会の意見の反映（資料4）で、私は情報発信をしっかりしないと市民は理解しないと発言したつもりだったが、シティプロモーションの推進の箇所を見ると、外への発信ばかりが重視されてまとめられている。砺波市民の我々が何の為に、何を行おうとして、このような計画を立てているのかという、内へ向けての発信の施策がほしい。移住で入ってくる人への発信より、出ていく人を留めることに力を注ぐ方が人口減少対策でも近道と思う。
事務局	・「となみっ子」にっこり子育てプロジェクト」は、8頁の3世帯同居・近居の推進の一事業で「再掲」として記述している。178事業に「再掲」は含まれていない。 ・情報の発信については、4頁の6.総合戦略の推進の中で、「・・・具体的な施策について市内外へ広く周知していくこと・・・」と付け加え、具体的な施策ではないが、ご意見を込めさせていただいた。
委員	・総合戦略の案は5年間の計画で、目標は2060年となっている。5年間で終わった後はまた新しい総合戦略を立てるのか、引き継いでいくのか。
事務局	・国の創生法に基づき総合戦略を進めている、国の政策は、今のところ5年間で6年目以降は未定だが、砺波市としてはこの後、29年からの総合計画を作成することになっている。この総合戦略は、総合計画に盛り込んでいきたいと考えている。
委員	・若い世代の婚活、出産、結婚や子育てなど家庭を築くことの大切さについて啓発する相手は、適齢期を越えた我々ではなく小中学生である。授業の一環で高齢者や

	赤ちゃんなどに目を向ける機会を与える教育が必要なのでは。178 事業が機能しないと意味がない。走り出し、機能しだした後も意見交換を行いフォローアップしていく事が大切だと思う。
事務局	・25 頁「家族っていいね」啓発事業（新規）でも中学生を対象とした結婚や子育ての喜びを啓発するためのセミナーを開催したいと考えている。
委員	・農業従事者に未婚者が多いと感じる。市では、毎月婚活相談会を開催しているが、農協や商工会でも婚活活動を実施している。市の婚活相談会に毎回どのくらいの人が集まっているのか。市が中心となって農協や商工会とも協力すれば、より多くの人が参加し効果がでるのではないかな。
事務局	・結婚相談会は月 1 回開催している。3 人枠で受け付けていて、毎回申込があり、成婚に至った実績もある。また男女 15 名ずつ程度で教育カレッジを行っている。カップルを成立させるには男女一緒にいる時間が大事なので、セミナーをしながら昔の青年団のように、男女共同で作業するような企画を行っている。
委員	・結婚相談会があることを知らない人が多いのでは。
事務局	・農協、商工会議所とも連携していきたい。
委員	・出生率を 2030 年までに 2.0 まで上げると目標が出ているが、砺波は H25 年で 1.53 であるが、実際過去 1 年 2 年の短いスパンで、0.1 でもあげる具体的な取組みを行っているのか。今、取り組んでいる施策の成果があるなしのフィードバックがでないのに 30 年後に 2.0 まであげるという目標は漠然としている。2.0 は、タイやベトナムより多い。先進国で 2.0 を越えているのはフランスとスウェーデンだけである。ロシアは 20 年かけて 1.4 から 1.9 になった。出生率をあげる取組みをして具体的にどのくらい上がるのか。
事務局	・出生率 2.0 は、アンケートの結果から出した市民の希望出生率で、人口ビジョンはそれをもとに作成している。子どもの少ない理由としては、女性の晩婚化、未婚化、転出がある。具体的な施策として、未婚化にポイントをあてれば出会いの機会を増やすために、先ほどのセミナーやイベント開催など行政も取り組んでいる。実際にどのくらいの数値が上がったかの分析はまだ行っていないが、課題は理解しているので、施策は見えてきている。
委員	・女性の進学率の増加で社内に女性が増えれば、5 時になったら帰る、子供のお迎えで残業をしないことが当たり前のような社会に自然に変わると思う。
委員	・中山間地域の猪の被害を聞くと農業をする気をなくすが、薬草栽培については契約栽培で販売先が決まっていて砺波のブランド化に良いと思う。 ・T P P で養豚産業の先行きが不安だが、田邊委員の玉葱を与えた豚肉の話はとても明るい話題だと思う。ブランド化されれば高くても売れるのではないかな。
委員	・田邊委員のチューリップ公園の活用の意見で、スケボーやスノーボー等、若い人たちに人気のスポーツへの繋がりが実現すればよいと思う。 ・オリジナルスイーツの新規事業や、フリーWi-Fi の拡充など、子供や若い世代に魅力のある楽しい施策を仕掛けていけば、遊ぶところができ若い子が集まり、砺波市で結婚する人が増えることに繋がると思う。 ・スポーツと福祉、健康づくりは繋がっている。市がまとめ役になってそれぞれの良い施策を繋げてほしいと思う。

	・農業でも種を植えるところが大事のように、健康づくりやスポーツも、種をまき、長い時間をかけて育てていくことが重要です。高齢者が多いので、福祉の施策に重点が置かれているが、スポーツ振興にもぜひ力を注いでほしい。 ・オリンピック、パラリンピックの合宿地誘致に、富山市に次いで砺波市が名乗りをあげていただいたことは、一流スポーツを子供達が生で見られるチャンスとなるので大変嬉しく思っている。 ・三世代同居の推進は素晴らしいが、一方、保育園で祖父母との遠足があったが、核家族で祖父母がいない子が悲しい思いをしている事実もあるため、一長一短があることも理解してほしい。
中條副委員長	・皆さま大変お疲れ様でした。今回で総合戦略、人口ビジョンについては一段落です。委員の皆様には積極的な議論、意見交換を進めていただいた結果、産業を育み、安定した雇用を創出する仕組み作りを目指した内容のある総合戦略案、人口ビジョン案にまとまったと思う。また、今後5年間の砺波市の生き方を示す具体的な内容が盛り込めたと思う。委員長、委員の皆様、事務局の皆様には改めて感謝を申し上げます。 ・現在、これらの案について広く市民の声を集めているということだが、この案がさらに市民の皆さんの意見を反映して、理解を得やすい案になっていくと思う。そして次のステップである総合計画に繋がっていくわけですが、総合戦略、人口ビジョン同様、内容のある素晴らしい計画になると思っている。 しかし、最も重要なことは、これらの戦略、計画が着実に実行されてその成果を生むことである。人口が減少していくなかで簡単なことではないが、砺波市の活力を維持し砺波市が発展していくために、これからも皆さまと力を合わせていきたいと思っています。
3. 閉会	
得能委員長	・素晴らしい総合戦略案、人口ビジョン案になったと思う。実行性があり、決して絵に描いた餅になってはいけないと思う。 これがひとつのきっかけになって、“となみ創生”まちづくりになっていけばと思う。これからも皆さまからはご意見をいただき、お知恵をお借りしたいと思っていますので今後ともご協力をお願いいたします。
事務局	・資料5「となみーていんぐ」の開催について、市民の皆さんに総合戦略・人口ビジョンの内容をPRしていくため、各小学校区において人口ビジョン、総合戦略についての説明会を開催する予定。 ぜひ、委員の皆様にも参加いただきたい。
事務局	・次回は総合計画に入ります。1月頃を予定していますが日程が決まりしだいご連絡します。
	以上 (以下余白)